

教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価報告書
(令和5年度対象)

令和6年9月
棚倉町教育委員会

目 次

I	はじめに	2
II	点検及び評価の実施方法	2
III	施策評価の基準	3
IV	棚倉町教育委員会施策評価一覧	4
V	点検・評価表	6
VI	学識経験者の意見	22

I はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会自らが点検及び評価を行い、その評価にあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされていることから、棚倉町教育委員会の権限に属する事務の管理執行の状況について点検評価を行った結果を取りまとめたものです。

教育委員会は、町長から独立した立場で教育行政における学校教育や社会教育など、広範かつ専門的な教育行政事務を管理及び執行するために設置された合議制の機関（行政委員会）です。

そのため、棚倉町教育委員会では、この点検結果や評価及び学識経験者からの意見をもとに、計画的かつ効率的な教育行政を推進してまいります。

【参 考】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 点検及び評価の実施方法

棚倉町振興計画及び教育大綱において、4つの施策・16の主要施策を掲げています。点検及び評価にあたっては、事業の実績を基に進捗状況を担当課が評価し、改善が必要な場合はその方策を示します。そして、学識経験者のご意見をいただき、総合的な評価を行います。

●学識経験者

（順不同・敬称略）

氏 名	住 所
高田 昇	棚倉町大字棚倉字宮下109番地
藤田千恵子	棚倉町大字花園字鹿子山98番地1
石川 幸絵	棚倉町大字棚倉字城跡81番地

Ⅲ 施策評価の基準

各施策の点検評価は、次の3区分により達成度の評価を行う。

- A 施策、事業の達成度、進捗が順調である
 - ・事業の目的に対し、進捗や実績の達成状況が80%以上
 - ・達成度が非常に高い
- B 施策、事業の達成度、進捗がおおむね順調である
 - ・事業の目的に対し、進捗や実績の達成状況が60%以上から80%未満
 - ・達成度が高い
- C 施策、事業の達成度、進捗が順調ではない
 - ・事業の目的に対し、進捗や実績の達成状況が60%未満である
 - ・達成度が低い

○評価は、事業の進捗や実績等を総合的に評価しています。

IV 棚倉町教育委員会施策評価一覧

施 策 名			施策評価
1 学校教育の充実			A
主要施策名	評価	記 載 ページ	担 当 課
① キャリア発達の支援	A	6	子ども教育課
② 夢の実現を図る学力の向上	B	7	子ども教育課
③ 人間性豊かな心と健康な体の育成	A	8	子ども教育課
④ 特色ある学校づくりの推進	B	9	子ども教育課
⑤ 教育環境の充実	A	10	子ども教育課

施 策 名			施策評価
2 子育て環境の充実			A
主要施策名	評価	記 載 ページ	担 当 課
① 幼稚園教育の充実	A	11	子ども教育課
② 保育環境の充実	A	12	子ども教育課
③ 子育て支援の充実	A	13	子ども教育課

施 策 名			施策評価
3 生涯学習の充実			A
主要施策名	評価	記 載 ページ	担 当 課
① 生涯学習内容の充実	B	14	生涯学習課
② 生涯学習拠点の充実	A	15	生涯学習課
③ 青少年・子どもの健全育成	B	16	生涯学習課
④ 生涯スポーツの推進	A	17	生涯学習課

施 策 名			施策評価
4 文化芸術活動の振興			B
主要施策名	評価	記 載 ページ	担 当 課
① 郷土文化の保存と継承	A	18	生涯学習課
② 歴史や文化資源の活用	B	19	生涯学習課
③ 文化活動の推進	B	20	生涯学習課
④ 芸術活動の推進	B	21	生涯学習課

V 点検・評価表

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	学校教育の充実		担当課	担当課 評価
主要施策名	キャリア発達の支援		子ども教育課	A
第6次振興計画 における 事業の目的 と概要	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよく生きようとする子どもと一人一人の基礎的汎用的能力の育成を目指し、キャリア教育推進事業を展開する。 ・一人ひとりの基礎的汎用的能力の育成を目指した各学校の「キャリア教育推進プラン」を支援する。 ・町内の各組織の支援体制を確立し、幼小中のキャリア発達の連携を一体化する。 			
令和5年度 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育シンポジウムの開催 8月3日（木）棚倉町役場3階正庁 ・小学6年交流学习の開催 11月16日（木）・17日（金）ルネサンス棚倉、棚倉町総合体育館 ※沖縄県教育庁国頭教育事務所指導主事研修会の実施受け入れ 6月28日（水）・6月29日（木）教育委員会・棚倉小・棚倉中 			
成果実績	項目(単位)	R3	R4	R5
	シンポジウム参加者数(人)	111	115	107
	アンケート肯定意見(%)	100	100	99
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育シンポジウムについては、参加者はほぼ例年通りで、棚倉町の小中学校がそれぞれの児童生徒の実態に応じて同じ方向性で肯定的・対話的な関わりを中心にキャリア教育を実践していることへ理解と評価の意見が多かった。また、オンライン研修である移動の負担軽減の良さもある半面、音声聞き取りにくい場面も見られたとのこと意見も寄せられたため、集音機器の改善を検討していく。 ・今年度も、町内の保・幼・小・中・高のつながりのある実践を共有・意見交換する場とし、課題について助言を頂きながらキャリア教育を推進する。 ・ICT機器を活用したオンラインでの開催により、棚倉町以外の参加者を募り、町外へ発信する。 ・小学6年生の交流学习は、昨年度も宿泊は取りやめたが、目的である交流や中学校生活への心の準備が達成できた。 			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育としての小学6年生交流学习の在り方を更に検討する必要がある。教職員の負担軽減や時間対効果も考慮し、2日間の開催にこだわらず、1日のみの開催も内容を精選しながら今後考えていく必要がある。子どもたち自発的・自治的に取り組むことができるように事業内容の充実を図りたい。児童運営委員の振り返りの時間についても充実できるように工夫していく。 			

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	学校教育の充実	担当課	担当課 評価	
主要施策名	夢の実現を図る学力の向上	子ども教育課	B	
第6次振興計画における事業の目的と概要	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたち一人ひとりが夢を持ち、夢を実現できる学力が身に付くよう「学力向上推進事業」を展開する。 キャリア教育を意識した授業の実践に努める各学校の「学力向上グランドデザイン」の実践を支援する。 教職員の授業力の向上や知識、指導力を高めるため、各種研修事業を充実する。 支援の必要な子どもたちに対して、適切な支援の充実に努める。 			
令和5年度事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 棚倉町キャリア教育意識調査の実施（6月、11月） QUテストの見方とその結果の活用による指導についての研修会（7月11日（火）棚倉中学校：会津大学荻間澤教授） 			
成果実績	項目(単位)	R3	R4	R5
	肯定的評価平均 小学校 (%)	89	91	94
	肯定的評価平均 中学校 (%)	87	87	87
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> 小学4年生から中学3年生を対象にキャリア教育意識調査を実施した結果、小学校は、肯定的評価の平均値は年々高まっており、今年も高いレベルであった。中学校においては、特にキャリアプランニング能力の項目で、どの学年も肯定率が向上している。しかし、全国学力・学習状況調査においては、小・中ともに、全ての教科において全国・県平均を下回ったが、小学校の国語においては、全国平均より正答率が-1.2ポイントと比較的同等の結果ではあった。 研修会を開催したことでQUテストの特性を学び、要支援群に位置する生徒への関わり方や学級づくりを学ぶ機会となり、若手職員の学級経営に対する意識を高めることができた。また、関係機関との連携の必要性を再確認する機会とすることができた。 			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上研究計画の中でキャリア教育の推進を中心に、学級づくり・授業づくり・自己マネジメント力育成の各部会において、学力向上を目指して研究実践を進めて行く。その中でも、RVP DCAサイクルによる自己マネジメント力が向上するよう、学習計画表やフォーサイト手帳等の活用、キャリアパスポートの家庭・地域との共有等の取組みを強化していく。 教科指導においては、全国学力・学習状況調査の結果を学校全体で分析し、対応策を共有し、全校体制で個別の指導を充実させる必要があること、更には、教師側の意識も変える必要があり指導主事の学校訪問等による支援をしていく。 			

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	学校教育の充実		担当課	担当課 評価
主要施策名	人間性豊かな心と健康な体の育成		子ども教育課	A
第6次振興計画における事業の目的と概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「人が人とつながり、社会をつくっていく子ども」の育成を目指し、生徒指導推進事業を展開する。 ・日常的な運動や体育を充実し、スポーツテストの結果を活用しながら健康な体をつくっていく。 ・学校給食において地産地消を進め、正しい食生活を養うための食育の充実を図る。 			
令和5年度事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・棚倉町いじめ問題対策連絡協議会を開催し学校と関係機関の相互連携を図ることができた。 ・社会問題化となっている不登校対策の先進地を視察し、不登校児童生徒に対する実践を確認することができた。 ・学校給食の地産地消進めながら、食育指導や個別指導、給食時の訪問等を実施した。物価の高騰により令和6年度から1食当たりの給食費の増額を決定したが、保護者負担額は据え置きとした。 			
成果実績	項目(単位)	R3	R4	R5
	いじめの認知件数(件)	83	88	84
	学校給食における地元食材の割合(%)	39.3	40.3	39.0
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの認知件数は積極的認知により毎年80件を超えている。いじめについては各学校で基本方針等を定め未然防止に努めており、「棚倉町いじめ問題対策連絡協議会」においても情報の共有を行えた。 ・不登校対策として子どもサポート教室の充実を検討した。 ・米は100%棚倉産米を使用し地元の野菜も優先的に使用した。 ・賄い材料費の高騰により給食の質の低下を招かぬよう、学校給食摂取基準に基づきバランスのとれた給食を提供した。 			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめは積極認知を基本に早期の発見と解決に努め、未然防止に取り組む。 ・不登校の原因は様々であるため、多くの大人が関わることによって学びの保障と居場所づくりを進める。 ・地元食材の積極的な活用と、献立の工夫で魅力ある充実した給食の提供を図る。 			

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	学校教育の充実	担当課	担当課 評価
主要施策名	特色ある学校づくりの推進	子ども教育課	B
第6次振興計画における事業の目的と概要	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の環境を活かした特色ある学校づくりに努める。 学校評議委員制度やPTA会合等を通して、広く学校経営について意見を聞き、開かれた学校づくりに努める。 2学期制の検証を踏まえ、制度の再構築を進めます。 		
令和5年度事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校で、学校運営協議会（コミュニティスクール）を開設し、年に数回の会議を開催して地域と一体となって特色ある学校づくりを進めた。 地域の窓口として連絡・調整を行う地域学校協働活動推進員を小中学校に配置し地域と学校を結び、学校支援を行い地域と学校の協働活動を推進した。 		
成果実績	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会の開催 棚倉小学校 3回 社川小学校 4回 高野小学校 5回 近津小学校 2回 棚倉中学校 2回 各学校の地域との主な連携事業 棚倉小学校 桜清水の環境整備事業、地元農家の見学、ブルーベリー加工場見学 社川小学校 玉野堰、お榊明神の見学学習、地元農家の見学 高野小学校 地元農家の見学、校歌を辿る見学学習 近津小学校 山本不動尊見学学習、採掘場見学 地域学校協働活動推進員の主な活動 棚倉小学校 総合学習コーディネート、読み聞かせボランティア調整、桜清水環境作り活動等 近津小学校 家庭科・図工・珠算授業、読み聞かせボランティア調整、見学学習の引率等 		
評価の内容	<p>全小中学校に学校運営協議会が設置され保護者及び地域住民等が学校運営への参画と連携強化を行っている。それぞれの地域資源を活かした教育活動は行われている一方、コーディネート機能である地域学校協働推進員等の人的活用が出来ていない学校がある。</p>		
改善の方策等	<p>各学校には学校運営協議会が設置されているが、幼稚園には現在設置されていない状況であり、幼・小・中の連携も必要である。地域学校協働活動推進員については、学校により活動に隔たりがあるため、その目的と役割についての研修や行政側の組織体制の整備が必要。</p>		

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	学校教育の充実	担当課	担当課 評価
主要施策名	教育環境の充実	子ども教育課	A
第6次振興計画 における 事業の目的 と概要	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い教育を推進するため、教材・教具の充実を図る。 ・各小学校の今後の児童数の推移を把握し、学校規模の適正化と新たな教育システムについて検討する。 ・地域の実情に応じたスクールバス等による通学手段の支援に努める。 		
令和5年度 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校の必要備品の要望をとりまとめ、補助事業等を活用しながら教材・教具の充実を図った。 ・校内の空調機器の点検・清掃を令和5年度から各校輪番により実施する事とした。 ・社川小学校の改修工事を行い児童の学習環境の整備を行った。 ・高野地区の小学校を棚倉小学校とし、高野小学校は小規模校の特色を活かした学校運営を行うこととした。 		
成果実績	<ul style="list-style-type: none"> ・棚倉小学校と高野小学校、棚倉中学校の空調機器の清掃及び点検を行った。 棚倉小 室内機 71 台 室外機 26 台 高野小 室内機 21 台 室外機 10 台 棚倉中 室内機 89 台 室外機 27 台 ・社川小学校改修工事（1期工事） 工事内容：照明改修、建具改修、空調機器増設、網戸設置等 ・小学校区変更に伴う交流と、高野小学校への入学者募集を実施 棚倉小学校と交流授業 11 回 町内小学校からの転学者はなし、現在 13 名（5年生 6 名、6年生 7 名）在籍 		
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・設置から 10 年以上経過している空調機器を点検・清掃する事により、学習環境を整える事が出来た。 ・社川小学校については、主に教室等の照明の LED 化を行い、学習に適した環境を整える事が出来た。 ・棚倉小学校と交流授業を行ったことにより、スムーズに受入れる事が出来た。 		
改善の方策等	<p>教育環境の整備については、今後の児童・生徒数の減少を見極めながら行っていくべきであり、子ども達の安全と学びの保障を優先に進めて行く。さらには、高野小学校の今後の在り方についても検討を進めていく必要がある。</p>		

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	子育て環境の充実	担当課	担当課 評価
主要施策名	幼稚園教育の充実	子ども教育課	A
第6次振興計画 における 事業の目的 と概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の主体的な活動として「遊び」を通じて基礎的な生活習慣を確立し、様々な体験の場を提供して、園児の「やる気」を育て「ほめる」ことにより自己肯定感の基礎づくりを実施する。 ・ 研修の充実を図り、幼稚園職員の指導力向上を目指す。 ・ 支援の必要な園児に対し、適切な支援の充実に努める。 		
令和5年度 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各幼稚園においてキャリア教育を意識した体験活動等を実施し、「遊び」を通して「聞く」「考える」「伝える」ことを学ばせた。 ・ 専門的な知識を持つ大学教授を講師として、質の高い就学前教育プログラムについて研修会を開催し、幼稚園職員のスキルアップを図った。 ・ 各幼稚園に特別支援教育支援員を配置した。 		
成果実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者による絵本の読み聞かせを実施することで「聞く力」を、園児が授業等でタブレットを使用してプレゼンを行うことで「考える力・伝える力」を養った。 ・ 幼稚園職員の知識向上のため、幼児教育の価値及び社会情動的スキル、非認知能力等の研修会を開催した。 ・ 棚倉幼8名、社川幼2名、近津幼2名の支援員を配置した。 		
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各幼稚園において園児に様々な体験の場を提供し、園児の「やる気」や「人とかかわる力」を育むことができた。 ・ 専門的な知識を持つ講師を招いて研修会を開催したことで、幼稚園職員のスキルアップを図ることができた。 ・ 各幼稚園に支援員を配置し、支援が必要な園児に対し適切な支援をすることができた。 		
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育を推進し、子どもたちが遊びや生活の中で、夢を実現するための心の育成を図るとともに、健康増進と体力向上に努め、小学校へのスムーズな接続につなげる。 ・ 幼稚園職員の知識向上を図るため、研修会を継続的に開催する。 ・ 支援を必要とする園児の状況等を把握しながら、適正な人数の支援員を確保・配置する。 		

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	子育て環境の充実			担当課	担当課 評価
主要施策名	保育環境の充実			子ども教育課	A
第6次振興計画 における 事業の目的 と概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「待機児童ゼロ」を継続する。 ・棚倉町子ども子育て支援事業計画に基づいた支援と、多様化する保育ニーズを的確に捉え、保育サービスの提供と質の向上に努める。 				
令和5年度 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育事業の実施 ・利用者負担金の軽減 ・保育補助者雇上強化事業の実施 				
成果実績	項目(単位)	R 3	R 4	R 5	
	延長保育 利用者数(人)	1 1 1	9 0	5 2	
	待機児童数 (3月末現在申込件数)	0	0	0	
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・棚倉保育園との連携により、待機児童ゼロを継続した。 ・多様化する利用者ニーズに対応するため、保育園と連携して午後6時から6時35分までの35分間延長保育を実施し、就労世帯の子育て支援を図った。 ・利用者負担金は国に準じて軽減措置をしているが、町独自に第2子以降の利用者負担金を1/3（国は1/2）とし、利用者負担の軽減を図った。 ・保育園の負担軽減を図るため、保育補助者雇上強化事業の助成を行った。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・棚倉保育園の運営状況を常に把握し、安定した運営が継続的にできるよう引き続き助言・指導を行う。 ・就労を希望する保護者の増加及び幼児の低年齢化を見込み、保育士の確保に努める。 ・子ども子育て支援事業に基づき、利用者ニーズを的確に捉え、園との連携を図りながら、保育環境の整備等を図っていく。 				

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	子育て環境の充実		担当課	担当課 評価
主要施策名	子育て支援の充実		子ども教育課	A
第6次振興計画における事業の目的と概要	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の拠点となる子どもセンターの子育て支援事業として、親子が楽しく触れ合うことができる各種事業の充実を図り、事業の周知徹底により利用者を増やす。 ・子どもが安全で健やかに過ごせる場所を提供する。 			
令和5年度事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもセンターで各種事業を実施した。 ・地域の子育てを支援するため、ファミリー・サポート・センター事業を実施した。 ・児童クラブ、幼稚園預かり保育を実施した。 			
成果実績	項目(単位)	R 3	R 4	R 5
	子どもセンター来館者数(人)			
	上段：一般来館者数	4,334	4,802	6,244
	下段：各種事業参加者数	941	755	520
	ファミサポ登録者数(人)	45	49	42
	児童クラブ登録者数(人)	340	265	258
	幼稚園預かり保育利用者数(人)	188	154	160
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、保護者の外出意欲が高まったこと、また基本的対策の継続等により来館への障壁が無くなった為、来館者数が増加した。 ・ファミリー・サポート・センター事業を実施し、子どもを預けたり、預かったりする有償ボランティア活動を継続的に行った。 ・就労の多様化や共働き世帯の増加等により利用ニーズが非常に高いため、小学校・幼稚園と連携し、引き続き児童クラブや幼稚園預かり保育を実施した。 			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する育児環境に対応するため、ソフト・ハード両面の整備を進めるとともに、充実した各種事業を実施し来館者数の増加につなげる。 ・ファミリー・サポート・センター事業や児童クラブ、幼稚園預かり保育事業を継続して実施するため、会員や指導員、預かり保育員の確保に努める。 			

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	生涯学習の充実		担当課	担当課 評価
主要施策名	生涯学習内容の充実		生涯学習課	B
第6次振興計画 における 事業の目的 と概要	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の楽しさを広めるため、事業内容の情報提供の充実を図る。 生涯学習活動を支援するため、社会教育指導員による相談や指導助言の充実を図る。 生涯学習活動を通じて、学ぶ意欲、学ぶ楽しさを身につけることにより生活満足度のさらなる向上を図る。 			
令和5年度 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 町広報、町HPを利用した生涯学習情報の提供 社会教育指導員による各種講座の開催 生涯学習人材バンクを設置し、自らの経験、知識及び特技などを学校や地域活動等に生かしてみたいという人材を登録し、その情報を提供し、生涯学習を支援した。 			
成果実績	項目(単位)	R 3	R 4	R 5
	修道館大衆参加者(人)	92 (延べ722)	81 (延べ599)	69 (延べ572)
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習情報については、各種講座の募集等について町広報誌を利用して周知を行った。 社会教育指導員1名を配置して、各種講座への指導助言を行った。 演歌講座、俳句講座、ポーセラーツ講座、教養講座を実施したほか、料理講座の実施及び動画を作成し町HPに公開した。 生涯学習人材バンクへの令和5年度の登録者数は、26団体と個人登録が20名で、第46回文化祭のスタッフとして活動した。 			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の推進をするために、各種講座の様子や内容を検討し、オンライン配信等、参加者が気軽に参加できるよう講座の内容を工夫していく。 講座の受講者について自主的な活動へ移行できるよう誘導する方策を検討していく。 広報(HP)等を利用した人材の募集を図り人材バンクの見直しを図る。 			

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	生涯学習の充実			担当課	担当課 評価
主要施策名	生涯学習拠点の充実			生涯学習課	A
第6次振興計画 における 事業の目的 と概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書を利用した事業を展開し、図書館の利用促進を図る。 ・ 発表会や展示会等、日常の活動の成果を発表する場の充実を図る。 ・ 町立図書館の目的に応じた利用促進と、その管理形態の検討並びに施設の改修計画を計画的に進める。 				
令和5年度 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町立図書館の指定管理者による読書啓発、読書感想画展、図書館は楽しいんジャーの開催 ・ 修明高等学校と連携した高校生図書ボランティア活動 ・ 会議室等使用（貸館）の許可及び使用料の徴収に関する業務の実施 ・ 利用者の利便性を図るため施設の維持補修を実施 				
成果実績	項目(単位)	R 3	R 4	R 5	
	図書貸出数（冊）	36,660	33,115	31,604	
	図書館利用者数（人）	34,208	34,857	39,028	
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町立図書館の指定管理については、町民サービスの向上と新たな事業展開をはかっており、図書の貸出冊数は減少したが、利用者数は前年度より増加している。 ・ 図書室の利用に加えて、集会施設としての会議室は様々な文化活動、学習活動の場として利用されている。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き希望図書のアンケートを行うなど、読書者数を増やす取り組みを指定管理者と連携して行っていく。 ・ 月に一度、夜の図書館として開館時間を延長して利用促進を図る。 ・ 施設の改修については、年次計画に基づいて実施していく。 ・ 地域おこし協力隊（司書）と協力し、利用者の更なる利便性の向上を図る。 				

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	生涯学習の充実		担当課	担当課 評価
主要施策名	青少年・子どもの健全育成		生涯学習課	B
第6次振興計画における事業の目的と概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域の教育力を高め、家庭や地域、学校と協力しながら青少年を育成できるよう、関係機関や地域の指導者等と連携した取り組みを進める。 町内事業所等と連携した社会体験活動を通じて、子どもたちの健全育成に努める。 			
令和5年度事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> チャレキッズの開催 青少年の主張発表会の開催（オンライン配信実施） 二十歳のつどいの開催（オンライン配信実施） 			
成果実績	項目(単位)	R 3	R 4	R 5
	チャレキッズ参加児童数(人)	延べ411	延べ357	延べ302
	二十歳のつどい参加者数	145	102	124
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> 青少年の主張発表会は棚倉中学校を会場に聴講とオンライン配信を併用して開催した。 青少年の主張発表会は、青少年が日頃考えている様々な事柄についての発表の場を与え、望ましい成人として成長する一助となっている。 二十歳のつどい実行委員会を組織し、式典への積極的な参加を図ることができた。 二十歳のつどいについては、会場に出席できない成人者、関係者等のために式典の様子をオンライン配信した。 			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 「チャレキッズ」については、小学校5・6年生を対象としており、それぞれの発達段階に合った内容になるよう、内容の充実を図っていく。 青少年の主張については、より多くの方に聴講してもらえるよう周知方法を工夫していく。 二十歳のつどい実行委員の意見を反映し、式典の内容やスケジュールを調整する等より良い式典になるよう努めていく。 			

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	生涯学習の充実			担当課	担当課 評価
主要施策名	生涯スポーツの推進			生涯学習課	A
第6次振興計画における事業の目的と概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 棚倉スポーツクラブを支援し生涯スポーツの創出を図る。 ・ スポーツ施設の広域利用について近隣市町村と検討する。 ・ スポーツ協会やスポーツ推進委員など、各種団体との連携や活動を支援し、スポーツを通じた地域コミュニティづくりや、魅力あるスポーツイベントの開催に努める。 				
令和5年度事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 棚倉スポーツクラブへの支援 ・ インドアホッケー教室・大会、青空剣道教室 ・ 町民総合体育大会 				
成果実績	項目(単位)	R 3	R 4	R 5	
	総合体育館利用者数(人)	31,533	34,259	31,040	
	スポーツクラブ事業参加人数(人)	2,105	2,231	3,363	
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍により縮小・中止されていたイベントや各種教室が再開されるとともに、会員の健康増進、スポーツを通じた地域コミュニティの確立、豊かな高齢化社会の創造及び青少年の健全育成を理念に掲げ、「町民皆1スポーツ」の実現に貢献することを目的とした総合型地域スポーツクラブ事業を12教室開催し、延べ3,363名が参加した。 ・ 棚倉運動広場大規模改修工事を実施し、利用者の利便性を向上させた。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民の興味関心や競技レベルに合わせた様々なスポーツに触れる場を提供するため、健康づくり、人づくり、交流の場づくりを目的とした「棚倉スポーツクラブ」のさらなる育成を図り、生涯スポーツの機会の創出を図る。 ・ 「棚倉スポーツクラブ」では、各種教室の開催と合わせ、大運動会やさつま芋ほりなど多様なイベントを開催しながら広く活動を周知し、クラブへの参加人数を増やしていく。 				

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	文化芸術活動の振興		担当課	担当課 評価
主要施策名	郷土文化の保存と継承		生涯学習課	A
第6次振興計画における事業の目的と概要	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な歴史遺産や文化遺産の確実な伝承と継承を行うとともに、適正な保護に努める。 ・郷土芸能の保存会において、後継者の育成と支援を行う。 			
令和5年度事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・棚倉城跡石垣整備検討委員会の開催、棚倉城跡石垣整備に伴うボーリング調査及び石垣の変動量調査の実施 ・中世城館跡調査指導委員会の開催、赤館跡の基準点測量の実施 ・民俗芸能保存団体への活動費助成 			
成果実績	項目(単位)	R 3	R 4	R 5
	指定文化財件数(件)	3 6	3 6	3 6
	民俗芸能保存団体数(件)	2	2	2
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・棚倉城跡石垣整備検討委員会を開催し、石垣の災害復旧工事に係る調査結果、工法等について議論した。 ・中世城館跡調査指導委員会の開催、また赤館跡の基準点測量図を作成し、地形測量のための調査を実施した。 ・郷土芸能の保存団体については、保存団体が後継者の育成に努めており、郷土芸能の保存が図られている。 			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・棚倉城跡整備基本計画に基づき、令和5年度から令和10年度の計画で棚倉城跡石垣整備を実施する。 ・町内に遺る中世城館跡については、史料調査、縄張り図の作成等の調査成果に基づき、赤館跡と寺山館跡の調査を実施する。 ・郷土芸能の保存については、後継者の育成は重要な課題の一つであり、常に各団体の状況把握に努め、保存を図っていく。 			

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	文化芸術活動の振興		担当課	担当課 評価
主要施策名	歴史や文化資源の活用		生涯学習課	B
第6次振興計画における事業の目的と概要	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの郷土愛を育むため、町の歴史や郷土文化について学ぶ機会の充実を図る。 文化財等を広く公開できる環境整備に努め、住民の文化財への理解と関心を高める。 			
令和5年度事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 城下町くらしの資料館の開設と棚倉町茶室の活用 八槻家住宅を活用した文化財展の開催 文化財に関する広報活動 			
成果実績	項目(単位)	R 3	R 4	R 5
	八槻家住宅観覧者数(人)	1 4 6	1 2 3	2 2 8
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響もなくなり八槻家住宅観覧者数は増加傾向である。 町内の店舗において、町が保管している民俗資料を展示、公開することができた。 棚倉町歴史的建造物「八槻家住宅」において、秋に町内に遺る貴重な文化財を展示することができた。 転入教職員を対象に町内文化財の案内と説明を行なった。 町広報紙による文化財PRを行った。 			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画を立て、町民のニーズや関心を踏まえ展示の内容や方法について検討し、観覧者の増加に繋げていく文化財の展示及び企画展を実施する。 文化財に親しんでもらい、その保護への理解を深めていくために、棚倉城跡石垣修繕整備事業を活用した広報活動を行なっていく。 町広報紙、フェイスブックやX等を活用した文化財の情報発信にも取り組んでいく。 			

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	文化芸術活動の振興			担当課	担当課 評価
主要施策名	文化活動の推進			生涯学習課	B
第6次振興計画 における 事業の目的 と概要	<ul style="list-style-type: none"> 文化団体活動の場として、住民ニーズに沿った設備等の充実と、誰もが文化に親しめる環境づくりを図る。 				
令和5年度 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 各文化団体の活動の場として定期的な利用 				
成果実績	項目(単位)	R 3	R 4	R 5	
	文化センター 利用者数(人)	13,866	12,047	2,441	
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体や企業への貸館や自主事業に取り組んだ。 自主事業については町外からも広く集客を図った。 各種団体の文化活動についても、活発に展開された。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 貸館施設としてPRを引き続き行う。 				

令和6年度点検・評価表（令和5年度事業実施状況）

施策名	文化芸術活動の振興		担当課	担当課 評価
主要施策名	芸術活動の推進		生涯学習課	B
第6次振興計画における事業の目的と概要	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの豊かな心を育むため、芸術鑑賞教室の開催など優れた作品に触れる機会の充実を図ることを目的として事業を展開する。 住民が優れた芸術作品に触れる機会を提供し、地域の芸術文化の振興に努める。 			
令和5年度事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、小学校、中学校の芸術鑑賞教室を開催 コンサート用グランドピアノ開放事業の実施 倉美館運営協会の活動支援 			
成果実績	項目(単位)	R 3	R 4	R 5
	芸術鑑賞参加人数(人)	1,851	1,864	1,765
	ピアノ開放事業参加者数(人)	29	27	0
	倉美館運営協会事業数及び公演回数	事業：6 回数：8	事業：5 回数：7	事業：1 回数：1
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> 各学校(園)に希望調査を実施して要望に合った事業の実施に努め、好評を得ている。幼少期から芸術に触れることにより今後の芸術振興に寄与できるものである。 			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、芸術のニーズを把握し、地域の芸術文化の振興に努める。 			

VI 学識経験者の意見 【高田 昇 委員】

<p>施 策</p>	<p>1 学校教育の充実</p>
<p>子どもたちの教育のため各種施策を展開され、キャリア教育の意識調査でも高い数字が続いており、子どもたちのキャリア教育の意識の高さがうかがえます。</p> <p>これも日夜献身的に指導されている先生方の指導のおかげと考えます。</p> <p>ただ昨今の先生方の仕事は勉強を教えるだけではなく生活指導や保護者の対応、夏になるとプールの管理等の施設管理の仕事もあると聞きます。その他多くの事が教師という職業であるが故に様々な責任を負うことになっているようです。中学校では部活動の地域移行などの動きもありますが、先生方を尊重し良い教育を実践していくために教育委員会としても先生方の仕事の在り方について考えなくてはいけないのではないのでしょうか。</p>	
<p>施 策</p>	<p>2 子育て環境の充実</p>
<p>待機児童ゼロが継続できていることは素晴らしいことであり、引き続き継続する事を期待します。子育てに関しては保護者のニーズも多様化しており、他の自治体でもあらゆる施策を展開しているようです。</p> <p>棚倉町も幼稚園・保育園・子どもセンター、そして教育委員会が連携して、子育て施策に取り組んでいただきたいと思います。</p>	

<p>施 策</p>	<p>3 生涯学習の充実 4 文化芸術活動の振興</p>
<p>多岐にわたり事業を展開されていると思います。 棚倉町での生涯学習事業や文化芸術活動の継承は非常に大切だと思います。 しかし、中には参加者が集まらなかったり成果が見られなかったりと課題はあるか と思いますが、事業を続けることが大切だと感じます。 棚倉町には、充実した生涯学習施設と、貴重な歴史文化遺産がありますので、今後も そういった財産を利用した事業展開の継続を望みます。</p>	

VI 学識経験者の意見 【藤田 千恵子 委員】

<p>施 策</p>	<p>1 学校教育の充実</p>
<p>第6次棚倉町振興計画により長期的に取り組まれていることや、単年度の運営を4半期ごとのPDC Aを繰り返し改善していることなど、継続的運用の成果がアンケート調査の肯定的評価に表れていると思われました。</p> <p>さらに、肯定的・対話的な関わりを中心にしたキャリア教育方針は、自己肯定感を持つて人格形成がなされていることと思います。</p> <p>今後は、働き方改革などから教師の業務負担が大きくなることや、少子化などから保護者の学校運営への十分な協力体制が築けるのかなどは課題となることと考えます。それらの問題解決と教育の質向上のためにも、ICT機器を活用した改善と従来の方法のバランスよい運用が必要と思われました。さらに、幼・小・中の連携に加えて、より多くの町民が学校運営に参画する仕組みづくりがされたらよいと思われました。</p>	
<p>施 策</p>	<p>2 子育て環境の充実</p>
<p>[待機児童ゼロ]の継続や、18時35分までの延長保育の実施は、核家族や単身親世帯の増加、さらに就労世帯も増加している今日においては必須の施策だと思います。</p> <p>そして、尚も多様化する育児環境をサポートできる対策を講じて、子育てしやすい棚倉町にしていくことは、将来に向けて重要だと思います。</p> <p>また、棚倉町は身近なところに自然があるものの、多くの子ども達にとっては[近くて遠い自然]ではないでしょうか。自然に触れ合う機会を増やし、豊かな人間性を育んでほしいと思われました。</p>	

<p style="text-align: center;">施 策</p>	<p style="text-align: center;">3 生涯学習の充実</p>
<p>学ぶ意欲や学ぶ楽しさを提供する修道館大楽をもっと知りたいと思い、町HPを検索しました。しかし、料理講座以外の情報は調べることができませんでした。より多くの住民に修道館大楽を周知・参加してもらうために、町HPで講座紹介をするなど広報の仕方を見直してもよいかと思いました。</p> <p>〔青少年の主張〕や〔二十歳のつどい〕のオンライン配信は、様々な環境でも参加でき良かったと思います。さらに、二十歳のつどい実行委員会の意見を反映して、慣習にとられない対象者にとって記憶に残る式典にしてほしいと願います。</p> <p>図書館の利用促進については、今後も高校生図書ボランティアや、これまでの事業を継続してほしいと思います。</p> <p>また、幼い頃から読書習慣が身に付くように図書とは関りが無い企画も図書館で開催したり、幼稚園や小学校のカリキュラムの中で継続的に図書館を活用したりする、図書館が身近になる機会があるとよいと思いました。</p> <p>棚倉スポーツクラブのさつま芋掘りは、楽しい企画だと思いました。今後も多くの町民の参加意欲が上がるイベントを開催してほしいと思いました。</p>	
<p style="text-align: center;">施 策</p>	<p style="text-align: center;">4 文化芸術活動の振興</p>
<p>歴史や文化資源の活用については、新たな取り組みにも挑戦し、より多くの町民に関心を寄せてもらうことが継承にもつながるのではないのでしょうか。例えば、近年ではゲームなどを通じて若年層の歴史愛好者が増えているので、新しい歴史ファンや子ども達が興味を持てる展示や広報をすることで、歴史文化の承継もできるのではないだろうかと思いました。</p> <p>棚倉町文化センターの改修も完了しますので、活発な運用をしていただき棚倉町で芸術に触れる機会が増えることを期待します。</p>	

VI 学識経験者の意見 【石川 幸絵 委員】

<p>施 策</p>	<p>1 学校教育の充実</p>
<p>全国的に少子化・人口減少が進む中、棚倉町においても児童・生徒数の減少が続いており、深刻な状況にあることを知り衝撃を受けました。子どもたちが直に地域の人と関わり、社会と繋がる学びを実践されていることは評価されるべきだと思います。</p> <p>平成25年度からキャリア教育に取り組み10年以上が経過し、キャリア教育の町として定着し、さらなる推進が期待されているのではないのでしょうか。保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校と長く、子どもたちにとって非常に密な時間をかけて、一貫したキャリア教育を進められていることは、非常に素晴らしいことだと思います。</p> <p>学力の向上、健やかな心と体の育成、特色ある学校づくり、教育環境の充実のどれをとっても重要なことばかりです。未来を担う子どもたちのため、引き続きより良い事業を実施していただくようお願い致します。</p> <p>棚倉町の子どもたちは横断歩道で渡り終わると振り返って会釈してくれます。子どもたちのそういう姿を見る度、棚倉町の子供たちは素晴らしいな、良い教育がされているなど実感しています。</p>	
<p>施 策</p>	<p>2 子育て環境の充実</p>
<p>幼稚園教育の充実については、キャリア教育を意識した体験活動等が行われ、「遊び」を通して心とからだを育成されていることは素晴らしいことだと思います。保護者による読み聞かせは子どもたちの聞く力を養うためにも良いのは当然ですが、保護者にとっても、良い経験になると思います。</p> <p>保育環境の充実については、「待機児童ゼロ」を継続されていること、多様化する利用者のニーズにあわせ対応されていることは評価すべきことだと思いますし、利用者負担の軽減、保育園の負担軽減と対応されていることも良かったと思います。</p> <p>また、子育て支援の充実として、拠点となる子どもセンターの利用者数の増加していること、素晴らしいことだと思います。ファミリー・サポート・センターについても「もしものときの安心」を与えてくれる事業だとおもいますので、安心して子育てできる環境の充実を引き続きお願いします。</p>	

<p style="text-align: center;">施 策</p>	<p style="text-align: center;">3 生涯学習の充実</p>
<p>生涯学習の内容の充実については、活動支援、情報提供等努力されているにもかかわらず、参加者の高齢化等で参加者が減少傾向にあることは残念に思います。しかし、ポーセラーツ講座など若い世代が興味を持ちそうな講座が開かれており、評価されるべきであると思います。</p> <p>生涯学習拠点の充実については、町立図書館の利用者数が大幅に増加しており、町民がいつでも自由に充実した学びの機会と場所を与えられるということは有難いことだと思います。</p> <p>青少年・子どもの健全育成については、オンライン配信を併用しながらの開催で、ご苦労されていることと思います。いずれの事業も子どもたちにとっては忘れられない、思い出深い事業だと思いますので、引き続きよろしくお願い致します。</p>	
<p style="text-align: center;">施 策</p>	<p style="text-align: center;">4 文化芸術活動の振興</p>
<p>郷土文化の保存と継承については、大きな事業として棚倉城跡整備基本計画に基づき、今年度から5年計画で棚倉城跡石垣整備が行われていますが、棚倉町のシンボルとして親しまれている城跡が整備されることを嬉しく思いますし、評価すべきことだと思います。</p> <p>遠くからしか見たことがない石垣ですが、丁寧に調査され復元されることで、子どもたちにとっても、棚倉町の歴史に興味をもつきっかけになるのではないのでしょうか。</p> <p>歴史や文化資源の活用については、八槻家住宅での文化財展示などは文化財のPRになったと思います。文化財に親しみ、その保護の理解を深めていくためにも、棚倉町役場ホームページの遺跡マップ等の更新等正しい情報の発信を進めていただきたいと思います。</p> <p>文化・芸術活動の推進については、文化センターの改修後に行われる事業に期待したいと思います。倉美館は東白川郡内の文化・芸術の中心ですので、町民だけでなく郡内から熱い期待が寄せられていると思います。</p>	